

## 企画提案書の構成等について

■企画提案書は以下の項目順に作成すること。

### 1. 表紙

「法人名」、「住所」、「代表者職氏名」、「連絡担当者名（所属部署、役職、氏名）」、「連絡先（電話番号、FAX番号、電子メールアドレス）」を記載すること。

### 2. 目次

### 3. 業務内容別の説明

#### (1) 基本的事項

別紙「モビリティデータ等連携基盤構築業務評価基準」（以下、「評価基準」という）及び仕様書を踏まえ、本事業の目的、要件等を反映した提案内容とすること。企画提案書は1者1案とする。企画提案書は、次の項目について漏れなく作成すること。

#### (2) 業務実績

過去にIC乗降データと人流データを連携させた分析が可能なダッシュボードを作成した実績について記載すること。

#### (3) 業務実施体制

本業務の実施に当たっての取組体制（責任者、担当などの配置体制）、業務フロー（実施方針や基本的な考えを含めた業務全体の流れをフロー図等を用いて説明）、業務実施のスケジュール等の全体計画を示すこと。

#### (4) 分析データ

下記に挙げた事項に関する内容を記載すること。

①モビリティデータ等連携基盤（以下、「連携基盤」という）へ分析データとして取込可能なデータの取得、調達支援及び更新作業等

②人流センサをはじめとした乗降者数計測機器の調達、指定車両への設置及び連携基盤へのデータ活用

#### (5) ダッシュボード機能

連携基盤のダッシュボード機能の概要について記載すること。

#### (6) 連携基盤の操作性

連携基盤の操作性について記載すること。

#### (7) 利用環境等の維持管理

連携基盤（プロトタイプ）の運用・保守をはじめ、障害発生時の対応やセキュリティ確保のための対策等のサポート体制についても記載すること。その他、運用負荷の軽減に係る提案があれば記載すること。

#### (8) 連携基盤利用者への支援

下記に挙げた事項に関する内容を記載すること。

①連携基盤による分析結果を踏まえた青森市所管の路線バス等の利用実態や更なる利用促進に向けた広報等の作成

②分析データや分析結果を踏まえたシミュレーションの実施及びシミュレーション結果に基づくダイヤ改正案、路線統廃合案及び代替交通モードの導入地域の特定等の交通政策の提案

③乗降データや人流データを踏まえたシミュレーションの実施及び公共施設の将来的な移転に伴う移動需要の予測の提案

また、他都市における取組実績がある場合は、その内容も記載すること。

(9) その他

その他提案内容に係る特記事項があれば記載すること。

4. 企画提案書作成時の留意事項

- (1) 専門用語や難解な用語の使用及び表現は避け、イラストやイメージ等を用いて事業内容等を分かりやすく記載すること。
- (2) 企画提案書の枚数は制限しない。
- (3) 文字は10.5ポイント以上とし、フォントは任意とする。
- (4) 提出書類はA4判片綴じを原則とする。(必要に応じてA3判の折り込みも可能)
- (5) 表紙及び目次を除きページ番号を紙面下に付しホチキス等で綴じすること。

5. 見積書の作成方法

連携基盤構築費用を記載し、その内訳については業務内容別に可能な限り詳細に記載すること。

6. 実績調書の作成方法

様式第5号に沿って記載すること。